



カタレ富山

“カタラボ”スポーツで描くまちの未来をカタラボで語らおう 1/2



Story

カタレ富山ラボ“カタラボ”～スポーツで描くまちの未来をカタラボで語らおう～はカタレ富山を使ったまちづくりについて、参加者全員で楽しく考えて「シャレン！」となるアイデアを出し合う全4回のプログラム。「まちをよくしたい」そう思っても、どうアクションすればいいかわからない、本当の地域課題がわからないという人が多いと思います。富山市と協働し、様々な人々がそれぞれの強みを持ち寄り共に未来を創る場所としてカタラボを開催しました。協働者 塩原拓さん(富山市職員)

企業経営者、公務員、大学生、IT技術者、アーティストなど、様々な背景を持つ参加者が立場を越えた対話を重ね、クラブのリソースを活用した「シャレン！」企画を生み出しました。さらに、カタラボ終了後もクラブと参加者が連携・協働し、企画の実現に向けて準備を進めています。理想のまちの未来を思い描き、そのために今すべきことは何か、自分には何ができるかということを実際に考え仲間と議論し、行動に移す人が現れた(意識が変わった)ことが一番の成果だと考えています。地域課題が多様化・複雑化し、行政だけでは解決できない課題も数多くある中で、今後もカタレ富山がハブとなり多様なステークホルダーを結び付け、クラブのリソースをフル活用したシャレン！を展開していくことにより、「まちづくり」や「暮らしの課題解決」を「自分ごと」として捉え行動する人が増えていくことを期待しています。

参加者 村上綾子さん

選手の皆さんがピッチを駆け回る姿を見て、社会課題に駆け回る方々の姿に重なりました。様々な立場の人が答えの無い問に向き合っていく現在、選手の皆さんの真摯なプレーの姿に、これからの社会をより良くしてゆく仲間としての頼もしさや力強さを感じています。2030年にはSDGsゴール達成ですが、これからも共に社会というピッチを駆け抜けたしたいと思います！

参加者 沖田諒さん(富山大学大学院)

普段は出会えないような地域の方々と立場を超えて語り合い、気持ちをぶつけ合うことは大学ではできない貴重な経験でした。大学での勉強や研究に打ち込みつつ積極的に地域に出て行き、自分たちの手で富山の未来を切り拓いていこう、という当事者意識がカタラボによって生まれました。

カタレ富山シャレン！担当

カタレ富山はプロサッカークラブであり多くの人はサッカー競技面の意識が強いと思います。それだけではなく、カタレ富山は富山をよくするひとつのツール、富山を愛する仲間の一員だということを知っていただく機会になりました。

まちを想う仲間の輪が広がることが豊かな地域づくりに繋がっていくと思います。

第1回Jリーグとカタレ富山の社会活動について知ろう！

○インスピレーショントーク 公益社団法人日本プロサッカーリーグ 社会連携本部部長 鈴木 順氏 (シャレン！とは、シャレン！の効果やポイントなど)

○カタレ富山の事例紹介「病院ビューイング」協働者 富山市民病院 山野 潤先生

○グループディスカッション

第2回スタジアムで語らおう！

○インスピレーショントーク 富山大学人間発達科学部 地域スポーツコース 准教授 神野 賢治 氏 (スポーツとまちづくりの関係性や価値、スタジアムを活用したシャレン！事例など)

○フィールドワーク スタジアム周辺を散策し運営やリソースなどを観察

○試合観戦 (J3リーグ第23節vs. Y.S.C.C横浜)

○個人ワーク ワークシートの作成 (スタジアムを活用したシャレン！のアイデア)

第3回理想のまちについて語らおう！

○インスピレーショントーク 富山大学人間発達科学部 地域スポーツコース 准教授 神野 賢治 氏 (スポーツによるまちづくりの時代背景、日常生活でのスポーツ活用事例など)

○個人ワーク スケッチシート「まちの理想の風景を考えよう！」

○マグネットテーブル スケッチシートを見せ合い、共感した人同士でグループを形成

○グループワーク マグネットテーブルにより組成されたチームでシャレン！のアイデアを検討

第4回まちづくりのアイデアを考えよう！

○インスピレーショントーク 米田公認会計士事務所 代表(Jリーグ前理事)米田 恵美 氏 (シャレン！の立ち上げについて、シャレン！で実現したいこと、アイデアをカタチにするために大切なことなど)

○シャレン！企画発表 チーム名／企画名①With カタレ／子どもえがおプロジェクト②チームガヤ／新歓スタジアム③カタレシェアクラブ／探検！裏カタレ④BASE／未来の『笑顔』を守るBASE(基礎)を作る

*スピンオフ企画

○カタレを知ろう (選手の地域貢献に対する想いやクラブについて知りたいことを聞く会)

ゲスト:佐々木陽次選手、高橋駿太選手、佐々木一輝選手、稲葉修士選手、椎名伸志選手

○企画相談会 企画づくりにフロントスタッフや事務局がアドバイス



カタレ富山

“カタラボ”スポーツで描くまちの未来をカタラボで語らおう 2/2



活動詳細情報はこちら



<https://www.kataller.co.jp/all/press-release/%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%AC%E5%AF%8C%E5%B1%B1%E3%83%A9%E3%83%9C%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%A9%E3%83%9C-%FF%BD%9F%E3%82%B9%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%84%E3%81%A7%E6%8F%8F%E3%81%8F/>
<https://www.youtube.com/watch?v=JZaggeYq88&feature=youtu.be>

活動場所

Sketch Lab(スケッチラボ)、
富山県総合運動公園陸上競技場

カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ



協働者

行政、NPO、住民

協働者名

富山市、とやま未来共創チーム、住民

